

令和5年度 九州ブロック

再犯防止シンポジウム

検察庁が関わる社会復帰支援・多機関連携

犯罪をした高齢者又は障害のある者等に対する再犯防止・更生支援の取組について

犯罪をした高齢者や障害のある者等の中には、必要とされる福祉的支援が行き届いていないことを背景として再犯に及ぶ方がいます。そうした方々に対しては、これまで、必要な福祉的支援が受けられるよう、国と地域が連携して様々な支援を行ってきました。

本シンポジウムでは、検察庁が関わる社会復帰支援・多機関連携をテーマに、再犯を取り巻く現状や支援課題、それに対する具体的な取組や解決策、支援のノウハウや好事例等について取り上げてまいります。

罪を犯した者等の特性に応じた効果的かつ継続的な支援のため、国や地域の取組について、より多くの方に知っていただきたいと考えておりますので、御関心のある方は是非御参加ください。

12/11(月) 13:00~17:20
(開場12:00)

【場所】福岡市科学館6階サイエンスホール
福岡市中央区六本松4-2-1

要事前申込(11/22まで)

参加無料

会場アクセス

- JR JR博多駅で地下鉄七隈線橋本方面に乗り換え地下鉄 地下鉄七隈線「六本松」駅3番出口を出てすぐ
- バス 西鉄バス「六本松」バス停から徒歩すぐ



※会場にお越しの際は、公共交通機関のご利用をお願いします。

プログラム

【総合司会】フリーアナウンサー 白井 京子

- 12:00 開場・受付
- 13:00 開会挨拶(福岡高等検察庁検事長 久木元 伸)
主催者挨拶(九州地方更生保護委員会 委員長 古川 芳昭)
- 13:10 基調講演
福岡県における暴力団からの離脱・就労支援対策について
福岡県警察本部暴力団対策部 組織犯罪対策課長 山口 正文
- 14:10 インタビュー
受刑者(知的障害者等)の就労支援について
ー知的障害者受刑者処遇・支援モデル事業の紹介ー
長崎刑務所 首席矯正処遇官 平川 勝文
社会福祉法人 南高愛隣会理事長 田島 光浩
【インタビュアー】
福岡地方検察庁小倉支部支部長 山上 真由美
- 15:30 検察庁と多機関との再犯防止に係るこれまでの取組等
刑事司法手続の全体の流れから見た検察庁の入口支援の現状について
福岡高等検察庁総務部長 古崎 孝司
- 15:40 パネルディスカッション
高齢者又は障害のある者等に対する社会復帰支援の取組・多機関連携の現状について
- 17:20 閉会挨拶(福岡矯正管区長 田川 康一)

申込方法

必要事項を明記の上、シンポジウム事務局宛てメールにてお申し込みください。

【申込先】

ppo34-R5kyusyuu-sympo.e82@i.moj.go.jp

【必要事項】

- ①(メール件名)シンポジウム申込み
- ②参加者氏名・ふりがな
- ③電話番号

※二次元コードからも申込が可能です。

※ご利用端末の機種や設定によっては、二次元コードによる申込みができない場合があります。その場合は、任意のメールソフトに申込先メールアドレスを手入力してお申し込みください。



- ・上記メールアドレスからの返信が受信できるよう設定をお願いします。
- ・座席の空き状況を確認の上、シンポジウム事務局よりメールを返信いたします。1週間が経過しても返信がない場合には、シンポジウム事務局にお問い合わせください。
- ・定員に達した場合は、締切日より前に受付を終了する場合があります。

基調講演

福岡県における暴力団からの離脱・就労支援対策について

やまぐち

まさふみ

山口 正文 氏 福岡県警察本部暴力団対策部組織犯罪対策課長

平成2年に福岡県警に採用され、平成27年に小倉北警察署組織犯罪対策管理官として勤務後、平成29年に警察庁暴力団対策課に出向、平成31年に暴力団対策部組織犯罪対策課統括管理官、令和3年に暴力団対策部北九州地区暴力団犯罪捜査課長を歴任し、本年3月から、現職の組織犯罪対策課長として、暴力団組織の壊滅に向け活躍している。

インタビュー

インタビュアー／山上 真由美 福岡地方検察庁小倉支部支部長

受刑者(知的障害者等)の就労支援について

知的障害者受刑者処遇・支援モデル事業の紹介

ひらかわ

かつふみ

平川 勝文 氏

長崎刑務所
首席矯正処遇官

平成16年4月に長野県の有明高原寮(少年院)で法務教官として拝命し、平成25年4月から3年間、東京矯正管区事務官として刑事施設の教育関係業務を担当。福岡矯正管区成人矯正調整官及び同管区更生支援企画課長を経て現職に至る。

たしま

みつひろ

田島 光浩 氏

社会福祉法人南高愛隣会
理事長

父である田島良昭前理事長と共に幼少期に入所授産施設「雲仙愛隣牧場」に住み込み、共に生活を送る施設利用者との関わりから精神科医療の道を志す。

病院勤務を経て平成22年7月より南高愛隣会で勤務。平成25年10月からは同会理事長を務めている。

検察庁と多機関との再犯防止に係るこれまでの取組等

刑事司法手続の全体の流れから見た検察庁の入口支援の現状について

ふるさき

たかし

古崎 孝司 氏 福岡高等検察庁総務部長

平成6年4月に検事任官後、平成7年4月に福岡地検飯塚支部検事、平成29年4月に福岡高検検事、令和3年2月にさいたま地検越谷支部長を経て現職に至る。

パネルディスカッション

コーディネーター／小林 隼人(法務省大臣官房秘書課企画再犯防止推進室長) 事例紹介等／布村 希志子(福岡地方検察庁総務部長(刑事政策推進室長))

高齢者又は障害のある者等に対する社会復帰支援の取組・多機関連携の現状について

やの

やすひろ

矢野 安洋 氏

福岡保護観察所
保護観察官

社会福祉協議会職員を経て、平成22年4月、保護観察官採用。熊本保護観察所処遇部門に配属。以後、那覇、大分、宮崎、長崎の各保護観察所において更生緊急保護や特別調整を担当。令和4年4月、福岡保護観察所処遇部門に配属。

ふじた

としあき

藤田 敏明 氏

福岡県保健医療介護部
薬務課課長技術補佐

平成7年に福岡県に入庁。平成11年に現所属である薬務課にて薬物乱用防止の一次予防や医療用麻薬の適正使用、適正流通などを担当。平成30年には、全国初となる福岡地方検察庁と福岡県が連携した薬物事犯初犯者の再犯防止事業を立ち上げ、現在、課長技術補佐として、同事業を統括している。

たなか

しょうたろう

田中 祥太郎 氏 弁護士

平成26年12月に福岡県弁護士会登録、その後、福岡県弁護士会触法障がい者支援ワーキンググループ事務局長、福岡市障がい者等地域生活支援協議会触法障がい者部会部会長、福岡市地域包括ケアシステム推進会議専門部会(認知症支援部会)委員、福岡県介護保険審査会委員に選任され、障がい者等の支援のための活動を行っている。

おばた

たかひと

小畑 孝仁 氏

福岡県地域生活定着
支援センター長

平成22年大学院修了。同年、NPO法人北九州ホームレス支援機構(現抱撲)へ入職。抱撲館福岡(無料低額宿泊施設)で生活相談員を務めた後、平成23年、福岡県地域生活定着支援センターへ異動し、相談員、主任を経て、平成28年4月からセンター長を務めている。

ももえ

たかやす

百枝 孝泰 氏

公益社団法人
福岡県社会福祉士会前会長

社会福祉士、精神保健福祉士の資格を有し、現在、社会福祉法人福岡ケアサービス理事兼特別養護老人ホーム施設長として務め、その他大学及び専門学校の非常勤講師ほか、福岡地方検察庁社会福祉アドバイザーを務めている。

おかだ

まさゆき

岡田 昌之 氏

特定非営利活動法人
ジャパンマック代表理事

サービス管理責任者、相談支援専門員。法人代表理事とジャパンマック福岡の総括施設長を兼務。平成25年に福岡地区に施設を立ち上げ現在は5施設を運営している。触法依存症者の回復支援を手厚く行い、触法依存症者の支援組織作りや保護観察所等との連携に力を入れ取り組んでいる。